

あにわにわ 通信

第27号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「虹」を意味しています。

2017.3.1

「春を迎えて」

法人代表理事

恵泉女学園大学学長

大日向 雅美

今年の冬は暖冬の予想を違えて、各地に大雪をもたらすなど寒さ厳しい日が多かったように思います。それだけに春の到来が待ち遠しく思われるこの頃です。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

本通信も少し間を空けてしまいました。この間、あい・ぽーとに大きな動きがありました。二つご報告いたします。

まず一つは昨秋、念願の「あい・ぽーと」二番目の施設を千代田区麹町にオープンすることができました。千代田区の子育て・家族支援者の皆様には活動拠点としてのシンボ

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

住所：106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509

電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539

E-mail：station@ai-port.jp

URL：<http://www.ai-port.jp>

子育てひろば「あい・ぽーと」青山

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1

電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256

E-mail：info@ai-port.jp

子育てひろば「あい・ぽーと」麹町

住所：102-0075 東京都千代田区三番町7

電話：03-3556-8471 FAX：03-3556-8475

E-mail：kojimachi@ai-port.jp

ルタワーともなあって、益々のご活躍をいただければと思います。運営の理念・事業は基本的に青山の「あい・ぽーと」と同じですが、カフェ（藍カフェ）が新設されました。まちブコの皆さんがカフェマスターとしておいしいコーヒーとパンを提供していただきますので、お近くにいらしたら是非、お立ち寄りください。「あい・ぽーと」麹町については本号の二・三頁にご報告してありますので、ご覧ください。

二つ目は、青山の「あい・ぽーと」が二〇一六年度末で更新の時期を迎えましたが、これも昨秋にプロポーザルを経て、改めて港区から十年の契約更新をいただきました。プロポーザルに際して、開設から十三余年を振り返りましたが、老若男女共同参画で地域の子育て・家族を支援しようという目標が当初通りに、いえ、それ以上の成果を結んでいる

「子育て支援員」

スタートから一年に寄せて

法人理事・人材養成事業全国版世話人代表

白梅学園大学学長

汐見 稔幸

名前は伏せますが、ある子育て支援施設での話です。

二歳ぐらいの子どもたちに型はめのパズルをさせていた職員がいました。「いい、こういう形に組み合わせさせてくるのよ」と言いながら見本を見せていました。「さあ、やってみてちょうだい」と子どもたちにさせようとしています。でも子どもたちは初めてのようでもうまくできません。そのうち一人の子が飽きて別の所に行こうとしました。その職員はそれをまた、その子を制止しようとした。「今これするんでしょ」ときつく言って戻そうとしたのです。その子は仕方なく戻ったのですが、やる気がなさそうです。すると隣でやっていた女の子が、自分で鬼の顔のような形を作り

ことが確認できました。それもひとえに支援者の皆様のお働きあつてのことに改めて感謝の思いを深めたことでした。

子育て支援はまず人ありき。その思いをもって、青山と麹町での本法人の活動を展開してまいります。今後とも皆様のお力添えを心からお願いいたします。



だしました。型はめには興味がなくて、好きな形を作りたいかかったようです。面白い形ができたのですが、その職員はそれを見て「何してるの！ちがうでしょ！こういう形を作るんではしょ」と、なんとその子の作った作品を手で壊してしまい、「ちやんとやってちょうだい」とまたさせようとしています。

それを傍で見ていた若い職員がいたたまれなくなつて「○○ちゃん、いっしょに遊ぼうか」とその子を誘い出して別の所に連れだし、なんとかその場は収まりましたが、気まずい雰囲気だけが残ってしまいました。子育て支援員というありそうでなかった名称の資格を取得する制度が始まって、各地で実際の研修が行われています。その狙いは、こうした対応をする支援者をなくして、常に子どもと保護者の利益第一に考えて行動する支援者に皆なつてもらいたいからです。そのため研修の内容をみんな考えて、国の責任で形にしたものですが、その形式や内容を考える時の有力なモデルとさせてもらったのは、あい・ぽーとの子育て・家族支援者養成講座でした。ですから「あい・ぽーと」で行う子育て支援員研修は、全国の中でも注目されたい、その成果にも大きな期待が寄せられています。

研修修了者の皆さんには、実際に支援の現場で研鑽を積んでもらい、ぜひもう一度全国のモデルとなつていただきたいと思います。



子育てひろば「あい・ぽーと」麹町がオープンしました。



子育てひろば「あい・ぽーと」麹町は、NPO 法人あい・ぽーとステーションが港区青山を拠点として 10 数年にわたって実施してきた子育て・家族支援活動の実績を基に、千代田区の特性を活かして多面的な子育て・家族支援を展開することを目指しています。

千代田区は官公庁や世界有数の企業が林立する世界屈指の国際都市であり、時代の先端をいく多様な働き方や生活スタイルが営まれています。その一方で江戸開府 400 余年の歴史を有し、地域に根差した暮らしを大切にしている区民の方々も少なくありません。

こうしたダイバーシティに富んだ地域ならではのニーズに応える子育て支援拠点を築いて、子育てを通して人々が古きものと新しいもの、あるいは多文化を交流させることで千代田区に新たなエネルギーが湧き起こることを願っております。

主な事業は以下の通りです。

<地域子ども・子育て支援拠点事業>

(*は子育てひろば「あい・ぽーと」青山と同一事業・☆は麹町の新規事業)

- *子育てひろば (なないろの部屋)
- *理由を問わない一時預かり (こみち)
- *利用者支援
- ☆地域交流室 (にじの部屋)

- ・地域の方々がそれぞれの趣味や活動の一端を親子に紹介披露するなどを通して、多彩な知恵・知識や技術を子どもと子育て世代に伝えることを企画予定。
- ・恵泉女学園大学と協定を結び、女性のための「生涯就業力」を磨く講座を展開。

3月10日(金)18:30~ は女性国会議員と語る女性政策・子育て支援施策も開催。詳細はHPをご覧ください。

☆藍カフェ (右に記載)

<地域型保育事業>

- ・0, 1, 2 歳児を対象とする小規模保育 (家庭的保育)
- 本法人は千代田区内にすでに飯田橋と東神田の 2 か所で家庭的保育室を運営。その実績をもとに、麹町では小規模保育室を開設。待機児対策であると同時に、発達個人差の大きいこの年齢の子どもたち一人ひとりを丁寧に保育しています。

オープニングセレモニー 2016.10.1

2016 年 10 月 1 日 (土)、千代田区麹町に子育てひろば「あい・ぽーと」麹町がオープンしました。オープン初日、「オープニングセレモニー」が行われ、沢山のご来賓・関係者の皆様がお集まりくださいました。三重奏によるオープニング演奏の後、千代田区長の方からのご祝辞も頂戴致しました。また、各担当スタッフからは各部屋の事業紹介を行いました。午後には親子向けの体験講座やプロカメラマンによる親子の記念撮影会なども開催し、新しく生まれ変わった施設に多くの親子が足を運んでくださいました。



オープニングセレモニーの様子



石川 雅己千代田区長が式辞を述べられました。

千代田区児童・家庭支援センター 所長 新井 玉江

「あい・ぽーと」ステーションの千代田区の拠点として、子育てひろば「あい・ぽーと」麹町が開設したことに大日向先生他、スタッフの皆様のご尽力に大変感謝しております。また、一時保育の長時間対応や地域の皆様との交流の場であるカフェや地域交流室など、千代田区の多様なニーズに応え、子育て支援に大いに貢献して下さった事に、あわせて感謝いたします。

千代田区子ども部 子育て推進課長 土谷 吉夫

小規模保育室「あい・ぽーと」小さな家麹町、皆様のご努力により開設できたこと感謝申し上げます。これも飯田橋・東神田で培ってきた家庭的保育事業の実績があったからこそだと思っております。子育て相談、一時預かり保育、地域交流のカフェなど地域子育て支援事業と一体の特徴を生かした地域に愛された保育室になればと願っております。

千代田区子ども部 子ども支援課長 加藤 伸昭

子育てひろば「あい・ぽーと」麹町が無事開設・運営していることについて、感謝申し上げます。ひとえに、大日向先生をはじめ、NPOあい・ぽーとスタッフ全員のご尽力の賜物でございます。区では、平成 28 年 4 月現在 3,283 人いる 0~5 歳の乳幼児人口が今後も増大すると考えており、小規模保育事業による待機児童解消や、子育てコーディネーターによる子育て相談に応じること等を通じて、この施設が多くの方々に利用され、愛されることを切に願っております。



住友生命保険相互会社 社長 橋本雅博様からの御祝のお花

カフェ「藍カフェ」

まちプロさんが企画運営。おいしいコーヒーとパンを提供しています。ひろば利用の親子だけでなく、周辺の住民の方々、ビジネスマンやお年寄りも気軽に立ち寄って、ゆったり過ごしていらっしゃいます。



私たち【まちプロ】カフェスタッフが、心を込めてオーガニックのおいしいコーヒーを提供致します。



**【子育て・家族支援者養成講座
(子育て支援員研修)開催報告】**

本法人の「子育て・家族支援者養成講座」は、昨年度から開始された厚生労働省の「子育て支援員研修」に対応した講座へと順次移行しております。港区・千代田区は、本年度より、浦安市は昨年度より対応。

子育て支援員研修に対応した講座になることで、認定者には、これまでのあい・ぽーとステーションの認定証と共に、各自治体の市長・区長名による「子育て支援員研修」の修了証が発行されるようになりました。「子育て支援員研修」の修了証は、全国共通のもので、例えば、転居等で、他の自治体に移られた際にも有効なものとなっております。

昨年度までに、各自治体で本法人の認定を取得された方には、新しい研修制度へ移行して頂くための「確認研修」を順次ご案内しておりますので、未履修の方は、是非「受講の程よろしく」お願い致します。

なお、昨年度末からは、新たに埼玉県戸田市でも開催させて頂いております。

各自自治体の講座開催状況は次の通りです。

- 〔二〇一六年度子育て・家族支援者養成講座
(子育て支援員研修)実施状況〕
- 〔港区〕
- 港区子育て支援員研修(地域保育)コース
- 〔前期〕
- 開催期間二〇一六年五月十三日～八月五日
- 認定者四〇名
- 〔後期〕
- 開催期間二〇一六年十月七日～十二月十六日
- 認定者四〇名

〔千代田区〕
千代田区子育て支援員研修(地域保育)コース
開催期間二〇一六年十月七日～十二月十六日
認定者二十三名

〔浦安市〕
開催期間二〇一六年五月十三日～七月二十九日
認定者一般コース二十一名、児童コース八名
認定者一級コース三名

〔二級〕
開催期間二〇一六年十月七日～十二月九日
認定者二十二名
準認定者三名

〔戸田市〕
開催期間二〇一六年十月七日～二〇一七年二月二十二日
認定者三六名



【バックアップ研修情報】

〔港区〕 (会場は全て「あい・ぽーと」三階ホール)

三月一六日(木)十四時～十五時三十分
内容 乳幼児向けの工作遊び(仮)
講師 いしかわまりこ(NHK Eテレ)
「ノージのひらめき工房」監修

〔千代田区〕

三月二十八日(火)十六時～十七時三十分
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
講師 大日向 雅美
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」麹町

〔浦安市〕



〔支援者〕

三月十三日(月)十四時～十五時三十分
内容 乳幼児向けの工作遊び(仮)
講師 いしかわまりこ(NHK Eテレ)
「ノージのひらめき工房」監修
会場 戸田市役所5階会議室 C 大会議室

〔ケアマネージャー〕

三月十四日(火) 十六時～十七時三十分
講師 大日向雅美
会場 市役所4階災害対策本部室

〔戸田市〕

三月十三日(月)十四時～十五時三十分
内容 乳幼児向けの工作遊び(仮)
講師 いしかわまりこ(NHK Eテレ)
「ノージのひらめき工房」監修
会場 戸田市役所5階会議室 C 大会議室



**【子育て・まちづくり支援プロフェッサー
養成講座(第5期)開講情報】**

～住友生命保険相互会社助成事業～
二〇一七年三月二十三日(木)二十四日(金)
二十五日(土)二十八日(火)
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」
(東京都 港区南青山及び 千代田区麹町)他

定年前後の「男性」を対象とした養成講座です。お知り合いや「家族で」興味をお持ちの方に、是非「紹介下さい」。

開催予定

- 〔港区〕子育て支援員研修(第三期)
二〇一七年五月十二日(金) 二〇一七年八月十日(金)
- 〔千代田区〕子育て支援員研修(第二期)
二〇一七年六月七日(水) 二〇一七年九月二十日(水)
- 〔浦安市〕子育て支援員研修(第一期)
二〇一七年五月十九日(金) 二〇一七年九月十五日(金)
- 〔高浜市〕子育て・家族支援者養成講座
二〇一七年五月二十一日(日) 二〇一七年九月三日(日)

※ 最新の開催予定及び受講要項等の詳細は、各自治体の広報紙や本法人のホームページで案内予定です。ので、そちらで確認下さい。

新年度の養成講座も、各自治体の皆様の受講をお待ちしております。お知り合いの方などいらっしゃいましたら、是非「紹介下さい」。